

令和5年度第1回柴田町新図書館建設検討委員会 議事概要

1. 日 時 令和5年6月30日（金）午後2時00分～午後4時25分

2. 場 所 ふるさと文化伝承館（図書館）2階 多目的ホール

3. 出席者

（1）委員

平岡善浩、大槻浩子、男澤勝由、金城幸子、平間美咲、木村美智子、  
田中亮、佐藤祥多、玉渕博之

（欠席）谷内幸絵

（敬称略）

（2）事務局

教育長 船迫邦則

柴田町図書館 三浦館長、目黒副館長、齋藤主査、荒関司書  
生涯学習課 大宮課長、藏田班長、藤原副参事、駒板主事

4. 傍聴者

5名

5. 内 容

	(進行：目黒副館長)
【町長あいさつ】 町長	(町長よりあいさつ)
【委嘱状交付】	(教育長より委嘱状の交付)
【開会】	
【教育長挨拶】 教育長	(教育長よりあいさつ)
【委員長・副委員長選出】	(教育長が仮議長となり選出、男澤委員から平岡委員を委員長に、大槻委員を副委員長にとの推薦があり、全会一致で承認された。)
【議事】 委員長	ここから要綱第6条に基づき議長を務めさせていただきます。それでは、議事に入ります。報告事項①都市再生整備計画の概要について、事務局の説明をお願いします。
都市建設課 池田課長 佐藤班長	(都市再生整備計画の概要について説明)
委員長	ありがとうございました。今回は第1回の会議なので、説明をい

	<p>ただくのが多くなりますが、その都度合間に質問などをいただければと思います。</p> <p>それでは、この内容につきまして質問等あればよろしくお願いいたしますします。</p>
委員	<p>2枚目の地図のほうを見ますと、図書館は今の郷土館から独立した建物になるという考え方でよろしいでしょうか。</p>
佐藤班長	<p>2ページ目の位置図の緑の部分、矢印をはさんでピンク色の部分に①誘導施設図書館について記載されています。計画では図書館は単独施設ということで考えております。最近の流行としては複合施設が多くなっていますが、柴田町では単独ということで反映しています。</p>
委員長	<p>図書館の建設予定地は窓から見える駐車場になっている部分を予定しているとのこと。賑わい交流拠点の全体のことをご説明いただきましたが、この委員会では図書館のことについて議論することになります。ただ、図書館建設ととても深いかわりがあるのでご説明いただきました。</p>
委員	<p>図書館建設とは少し違う質問になりますが、さくらまつりの際に旧4号線で渋滞が発生しますが、今回の整備では、その解消など、導線などについて対策等するのでしょうか。</p>
佐藤班長	<p>資料の位置図を見てももらいますと、今回の計画は、旧4号線までの部分が入っていません。今回の道路整備計画は北側の集会所のところの交差点までが範囲になりますが、将来的には旧4号線までの接続などについて考えていかないといけないと思っています。どうしても、道路周辺に家が張り付いているため、影響が出てしまいますので、5年間の計画では難しいです。その分は今回の計画には入っていません。</p>
委員長	<p>地図で見てもここまで入ってくるのは桜の時期などは大変そうですね。</p>
委員	<p>そうですね、入ってくるまでで1時間以上かかってしまいます。</p>
委員	<p>図書館の利用者さんはこのエリアだと③の広場の部分になるのでしょうか。そうすると図書館の利用者が奥に行って戻ってくることになるので、動線としては複雑なのではないかなと思うのですがどうでしょうか。</p>

佐藤班長	<p>図書館は図書館で専用の駐車場を設ける計画でございます。昨年行ったワークショップでもそのような話が出ています。城址公園の下の部分は、駐車場では補助金がもらえませんが、人が集まることができる広場として整備して、桜まつりのようなときには、駐車場としても利用できるものとして整備する予定です。このエリアを拠点として考えたときに人の動線を考えるのは非常に重要だと思っているので、このエリアの中の道路整備などについてもワークショップなどで意見をいただいているところでした。</p>
池田課長	<p>付け加えになりますが、北側の図書館用地の中に、建物と駐車場をつくるという考え方ということになります。</p>
委員長	<p>続きまして、報告事項②新図書館建設のスケジュール及び検討内容について、事務局の説明をお願いします。</p>
駒板主事	<p>(新図書館建設のスケジュール及び検討内容について説明)</p>
委員長	<p>質問等ございますでしょうか。 ないようですので、わたくしのほうから一つです。推進体制のところ、町民ワークショップ職員ワーキンググループについては、エリア一帯のことについて話し合うものだというのですが、エリア一帯についてと図書館のことについてどのように共有していくのでしょうか。</p>
駒板主事	<p>生涯学習課がどちらも事務局をしていますので、どちらの情報もそれぞれ適宜共有していきたいとおもいます。</p>
委員長	<p>それでは報告事項③に移ります。町民アンケートの内容と進捗状況について、事務局の説明をお願いします。</p>
駒板主事	<p>(町民アンケートの内容と進捗状況について説明)</p>
委員長	<p>質問等ございますでしょうか。 最終的な結果は次回説明いただけるのでしょうか</p>
駒板主事	<p>集計結果等については、第2回委員会でまとめてご報告させていただきます。</p>
委員長	<p>それでは続きまして報告事項④柴田町図書館の現状と課題について、事務局の説明をお願いします。</p>

齋藤主査	(報告事項④柴田町図書館の現状と課題について説明)
委員長	図書館の現状と課題についてご説明いただきました。図書館に直接かかわる委員の方もいらっしゃるのでは意見等いろいろ教えていただければと思います。
副委員長	課題の利用状況についてですが、槻木分室の利用者は、70代以上が多いという報告がありましたが、利用者の年齢層の分析がないのですがこれも併せて次回お示しいただけますでしょうか。新図書館の来館者数の目標が従前値から目標値が5倍近くになっているので、具体的にどういうところをターゲットにして来館者数を増やすのか考えなくてはならないので、どの年齢層をターゲットにするのか考えていくための分析が欲しいと考えています。
齋藤主査	次回の会議で提出させていただきます。
委員長	目標値12万人とありますが、町民の方ということもあると思いますが、町外の方も含めてということではないかとおもいますが町としてはどのように考えていますか。
佐藤班長	今委員長から質問がありました12万人という人数の考え方についてですが、町民の方に限らず図書館に来館した総数ということでカウントしています。貸し出しの数と立ち寄った人の数で考え方が違うと思いますが、今回はこのエリアでという考え方になりますので、立ち寄った方をカウントしたいと考えています。12万人という数の考え方でございますが、現在の貸出数や蔵書数がありまして、新しい図書館になりますと面積や蔵書数が増えてきます。この計画を立てた当初ですと20万冊の蔵書数をもとに、名取市や大崎市であったり、5万人前後の自治体を参考に12万人で見込んでいます。
委員長	ありがとうございました。町内だけでなく近隣の市町から来館する方もカウントするというところで確認出来ました。
委員	本館と分室に返却BOXを設置しているということですが、その利用実績をデータとして出せますでしょうか。
齋藤主査	BOXに関しては何冊かということは常にカウントしているわけはありません。資料の7ページの利用状況のところでも回送件数を記載しました。本館の本を分室に取り寄せて利用した数が1363冊で、本館で借りた本を分室に返却した数は4165冊という読み方に

<p>委員長</p>	<p>なります。借りるときは本館に借りに来て、返す時には自宅から近い槻木に返すという方法で利用している方がいっぱいいらっしゃるということになります。このように利用者にとって使いやすい使い方をしていってほしいと思います。</p> <p>それでは、協議事項に移りたいと思います。</p> <p>それでは協議事項の1番、基本構想骨子案に組み込むべき事項についてというところに入りたいと思います。まず、基本構想にどういった内容を入れるかということについて議論していきたいと思っています。本日資料を提供していただきましたのでまず玉淵委員から説明をお願いいたします。</p> <p>(玉淵委員より資料の説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。委員の皆様からいろいろな意見を頂戴して、それを整理するのは事務局にお願いをしてそれを改めてここで議論するという流れになるかと思っています。</p> <p>また、私のほうで用意した資料としましては、ほかの市町でどのような基本構想を作っているのかについてまとめたものです。</p> <p>(平岡委員長より資料の説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、皆さんに一言ずつお話をいただきたいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>子ども読書推進委員会の委員としての意見としましては、不読率ということで、なかなか本を読まない子供が増えておりまして、子ども読書活動推進委員会のほうでも、小学校中学校長、保育園の保護者に読書に関してのアンケートを取っていますが、その取り組みの中で数値が伸びていっていることもあったりと、何かアクションを起こせば少しずつ変わってくるという変化を感じていますので、今の時代に求められる図書館ということもありますが、いろいろなことに関心を持つことができる本に親しめる場を提供できる場所であってほしいということが一番です。</p> <p>子育てという中で、高齢化もありますが、男性の育児休業の話であるとか、そういうことも含めて何か役に立つ、ヒントになるものがそこにある図書館であってほしいです。まずは町民の方が利用しやすい図書館になってほしいという思いです。子供もそうですが親も含めて頼れる存在が図書館にあるといいかなという理想があります。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、現役世代の方の利用が数字的には少なく、就業時間とかぶ</p>

<p>荒関司書</p>	<p>っているのが問題というのはわかりますので、もっと利用してもら えるためにアイデアをもっと欲しいなと思います。素朴な疑問と して、小学生などお子さんが活字と触れ合う機会が少ないという話 がありましたが、学校の図書室や図書館の役割や連携などについて 詳しく教えていただきたいなと思います。</p> <p>学校と図書館の連携についてお答えいたします。柴田町では小学 校6校、中学校3校にそれぞれ1名ずつ学校図書館司書を派遣して います。そこで、学校図書館司書と各学校の先生と連携を取りなが ら学校図書館の運営を進めています。それに加えて今年度は年に1 回学校図書館研修者の担当教諭研修会を行い、先生方の情報交換や 課題に思っていることの話し合う場を作っています。</p>
<p>大宮課長</p>	<p>柴田町では9校に9人の司書を配置していると説明しましたが、 学校の図書室に資格を持った司書が常駐しているというのはすご く珍しいことです。令和4年度で8万2千冊の貸し出しがあるとい う報告が上がってしまして、不読率があがっているとのことでした が、読んでいる子もいるということです。小中学校で図書に慣れ親 しんだ子たちが今後図書館の潜在的な利用者になり、不読率の解消 も一つの目標として基本構想にいられていけるのかなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、知りたい情報にアクセスできる図書館がいいなと思ってい ます。図書館に行けばやりたいことや面白いことが見つかるとい うのがいいと思っていて、10代や20代の人たちが図書館を利用し なくても生活できるし、本を読むことにこだわりを持っていない人 が多いので、情報が集まる場所だったら行ってもいいと思ってもら えるので、町長も言っていました。最新の情報もある、地域のボラ ンティアの情報があるというように情報が集まる場所になれば住 民の賑わいということが達成できるのかなと思います。私はボラン ティアなどの活動を大学4年間頑張ってきたのでボランティアや NPOが図書館を拠点にして活動できるような場所になるといいの かなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>皆さんのお話を聞いていて、本とは一体何なんだろう、本を読ん だらどうなるのかという根本的なところが疑問に思いました。まち づくりの活動をしている中で思っているのが、個人主義という考え 方が進んでいますが、それと同時に人に対してこれをするべきだと 求める人も多いということです。それであれば、最初の歩目を最 小単位で、自分たちでやればいいのかと思います。私は、いろい ろな知識があってやれる方法が自分の中であって、これとこれを組 み合わせればできると思えるのですが、その根本にあるのが本で得</p>

	<p>た知識だったりするのかなと思います。私の法人も余白という名前なのですが、芸術とか文化とかの少し時間に余裕があるもので、ゆったりとした時間というものがそういうものを生むのではないかなと思います。なので、文化や芸術というものも本以外で学べる、見られる場所が今後はいいのかなと思います。あくまでもまちづくり的な観点での話ではありますが。</p> <p>若い人は特に時間を意識していてファスト映画などが流行っているようですが、そこまで時間にこだわる必要があるかと思うので、ゆったりした時間を経験できるような図書館がいいのではないかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の話の関連ですが、皆さん自身の経験であるとか知識やノウハウをいうのは本だけではなく、対話の中で伝わっていくということもありますよね。</p>
委員	<p>里山方面の人たちはしゃべって口伝のような形で伝わっていることは多いし、そういう話を残していきたいなと思います。</p>
委員	<p>せっかくなので、余白という話が出ましたが、先日デザインの講話をしましたが、その中でも余白という話をとても大事なことでお話ししました。アマチュアの人は何か余っている、もったいないという印象になります。これは誌面などでも同じです。余白ということ意識して、そこに余白を設けるということは大事です。ソフト事業も空間も誌面もそうです。たまたまそういう話ができましたが、触れましたが、私たちは文化芸術の分野でやらさせていただいて、図書館や劇場、博物館、公共財といわれるものは大事なものです。大事なものは一言でいうと文化、人によって国によって違います。その大事なことがわからないと人同士でも向き合えずに土足で踏み込んでしまったりします。大事なものということをお互い分かり合えるという余白をもうおけることが必要です。図書館でも同じことが言えるのかなと思います。大事なことを大事だということが芸術だといいます。大事な文化、図書文化、本の中に含まれている人としての英知は、人気のある商売はキーワードでいうと、かっこいいものだそうです。例えば図書でも、小難しい、おしゃれな本を読みながらコーヒーをのみながら贅沢な時間を過ごしていることにかっこいいと感じることもあるのかなと思います。余白にかっこよさやおしゃれを演出できるような図書館の空間づくりも必要なのかなと思います。文化や芸術は大事なものだと思います。これからの時代私たちが公共財として地域課題へのアクセス、アプローチ、解決に向けた動きは他分野にもつながっていくのでは</p>

	<p>ないかと思います。この図書館を文化芸術、表現活動の人たちが集って何かできる場所になればいいなと思っています。いろいろな方々いろいろな分野の人たちが集えるオープンな場所ができれば最高だなと思います。これは理想ですが、理想から始まってどんな図書館になっていくのかなということが大事なのではないかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>いろいろと思いつかべるような図書館はあります。家族、友人、知り合い、同じ趣味の人、初めて会った人とも世間話ができる、一緒にゆったりと楽しく過ごせる、毎日でも通いたいと思える居場所。職員とも気軽に相談ができ、一緒に図書館を成長させていける。人だけでなく、好きな本や豊富な知識と一緒に贅沢な時間を過ごす図書館が必要だと思ふ館。</p>
<p>委員</p>	<p>実際のところ図書館に来る人は時間に余裕のある人です。時間に余裕のない例えばサラリーマンとかはさっと調べて自分の調べた結果がわかったらすぐ帰ります。図書館はそういう世界です。図書館はどういう場なのかということについては、情報の提供、発信、創造の場だと思います。提供は貸し出しや返却などです。創造の場という言い方をしましたが、何かものを調べたいとか確かあそこの図書館しかもっていない本がある、あの辞典を持っているのはあの図書館だぞとか、そこで自分の課題解決あるいはそこから導き出すということです。ここが図書館の一番苦手な部分です。本当は情報発信の場でもあるのですが図書館は情報発信するのが苦手で、わからないのです。努力していないだけで、自戒を込めています。例えば先ほどのNPOのチラシがいっぱい置いてあったりしたほうがいいのではないかと話が出ましたら、設置するだけではなくてそれを発信すればいいのです。NPOの情報はこういう棚にこれだけ並べてありますからどうぞご自由にとということをしてHPなりツイッターなり youtube などいろいろな媒体があるので、やればいいのですがやろうとしません。あるいはやろうとしているけどめんどくさがついています。それを打破しなくてはいけないんだというように自分が勤めている図書館にいながらそう思っています。できれば今度の新しい柴田町図書館は情報の提供の場であり、創造の場であり、発信の場であってほしいなと自分の図書館でできないからこそ柴田町では実現してほしいなと思います。一応宮城県図書館はツイッターもフェイスブックも youtube も若い職員を焚きつけてやっています。そういうこともぜひご参考にさせていただければと思います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>すごくいろいろな委員の話聞くほどなるほどどうなんだよなって思います。本読んでどうなるのっていうところとか、花より団</p>



<p>委員長</p> <p>【閉会】 副委員長</p> <p>目黒副館長</p>	<p>子、本より団子だったりもします。かつこいいということは大事だと思います。私今年で古希ですが、75歳になったら電車で図書館にきて婦人フォーラムとかの雑誌を読みたいなと思っています。あれを毎月買うのはお金的に大変です。例えばカフェとかあればコーヒー飲みながら雑誌を読むというのはとてもいいなと思います。月2回くらいこういうような楽しみを持てるような場所になるといいなと思います。あとは不読率ですね、本好きにするにはどうすればいいか考えたものがあります。柴田町にはブックスタートという事業があります。3か月検診のときに2冊、小学校に入ると絵本1冊、中学校に入るときも好きな本をプレゼントしています。そういうことで本に親しむスタートがきっちり切れている町です。そういう意味ではいろいろと考えて図書館を運営しているのではないかなと思います。さらにいい図書館になっていけばいいなと思います。</p> <p>各委員の皆様からすごく良いご意見やキーワードがいっぱい出たかと思います。育児であるとか、学校図書館であるとか、知りたい情報にアクセス、若い人たちが市民活動の情報に、時間や空間とかの余白、大事なものを伝える場、ほかの分野とのつながりであるとか、そもそも柴田町は小さいころから本に親しめる仕組みがあるので、そういうものがつながる図書館であるとか様々な話が出ました。</p> <p>また次回以降いただいた意見をまとめて基本構想を作っていければいいと思います。</p> <p>本日は遅くなってしまいましたがお協力ありがとうございました。事務局にお返しいたします。</p> <p>(大槻副委員長より閉会のあいさつ)</p> <p>以上を持ちまして第1回柴田町図書館検討委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>
--	--